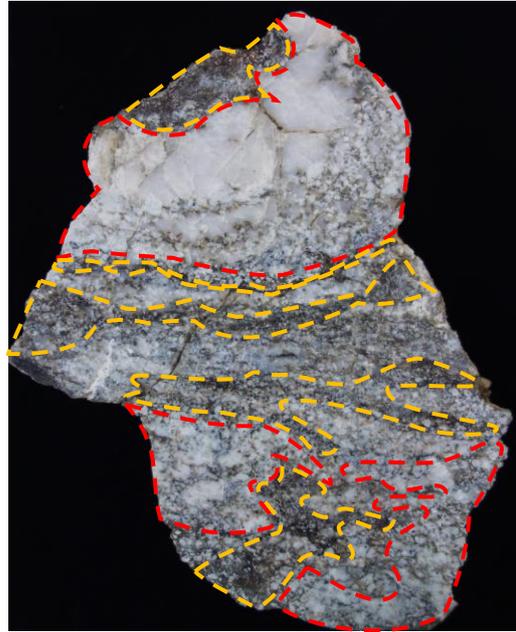


墨流し石 (すみながしいし)

墨流し石は、^{かこうがん}花崗岩マグマが^{へんまがん}片麻岩を溶かしながらかたまった岩石です。

四ッ又山頂周辺に分布



黄色い点線で囲った部分

くろうんもへんまがん
黒雲母片麻岩

もとの岩石 ⇒
泥岩が高温・高圧
で変化した変成岩



赤い点線で囲った部分

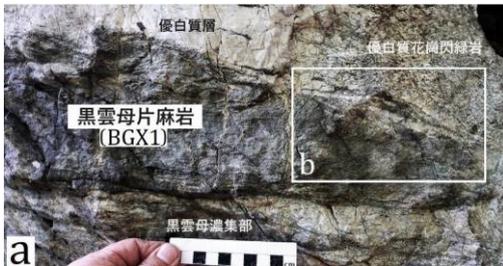
かこうせんりょくがん
花崗閃緑岩

もとの岩石 ⇒
花崗岩マグマが
固まった岩石

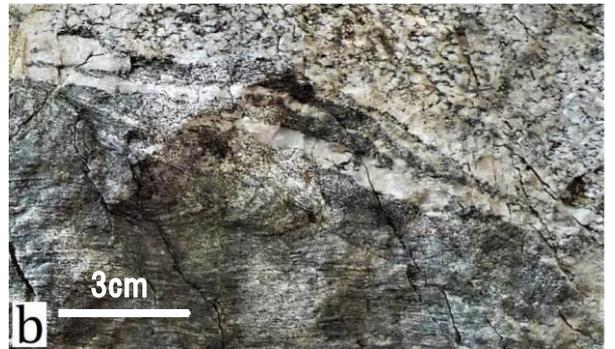


他の部分が混じりあった所

片麻岩の周囲が、はがれながらとけ始めているようす



拡大

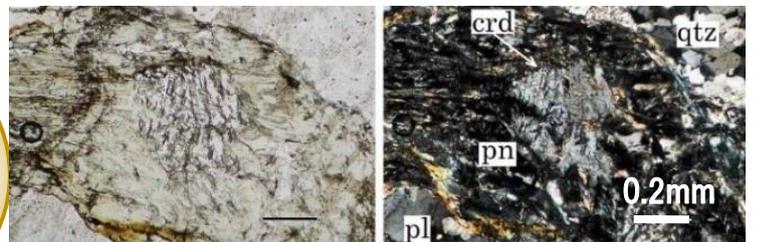


片麻岩を溶かし込んだマグマは成分が変わります

新たな
鉱物の
形成



ザクロ石



(開放ニコル)

キンセイ石(桜石)crd

(直行ニコル)

この“墨流し石”は、地下深くでできた花崗岩マグマがまわりにあった片麻岩をとかしてできました。それは約1億年前にアジア大陸東縁の地下での出来事でした。約6千万年前には、アジア大陸東縁の岩石たちは太平洋側にのし上げ、今日の跡倉クリツベ(根なし山)となりました。

文 献: 保科・力田・松岡・松井・市川・関東山地研究グループ(2023)地球科学, 77, 29-43.